

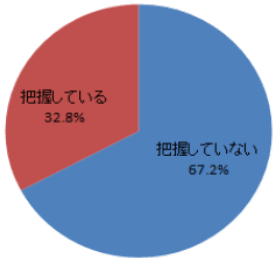
【町民ニーズ】

- ・ 自主防災組織の防災力強化のため技術の向上や資機材の充実が求められています。
- ・ 防災訓練等を通じて、防災関係機関の組織体制の実効性の検証や平時からの防災関係機関等との相互の連携強化、町民の防災に関する意識の高揚と知識の向上が求められています。

【町内を取り巻く環境（課題等）】

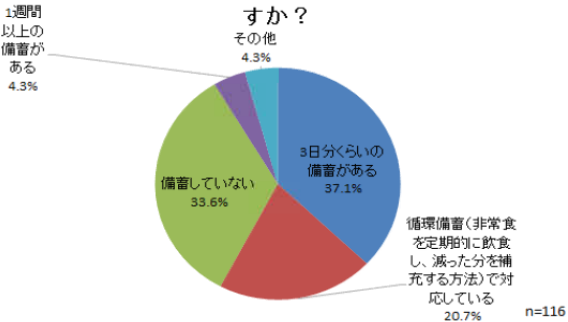
- ・ 地域における自主防災組織では、訓練の実施にばらつきがあるため、町全体での防災力を強化するために、防災に対する意識を向上させる必要がある。
- ・ 自助・共助・公助を明確にし、相互に協調することが必要となるが、自宅の近所に避難等で手助けが必要な人がいるかどうか把握していない人が約7割います。（アンケート）
災害時に備え、食料等を準備していない人が約3割以上います。（アンケート）

問5 自宅の近所に避難等で手助けが必要な人（高齢者、障がい者等）がいるかどうかを把握していますか？



n=116

問6 災害が起こったときのために、家庭内で家族分の食料、水、その他必要なものを準備していますか？



n=116

寒川町e-マーケティングリサーチ（H29）

【施策目標（目指す姿）】

町民一人ひとりが災害時に備えた準備をしている

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
自主防災組織の訓練・研修会（件）	R 元	20	21	22	23
避難所運営委員会の訓練（件）	R 元	3	4	5	6



具体的な取り組み ～事務事業～

① 自主防災活動事業

【事務事業目標】

自主防災組織が主体となり、防災及び減殺につながる取り組みが活発に行われている

【目標指標（単位）】

自主防災組織の訓練・研修会への参加人数（人）

基準年	R3	R4	R5	R6
2,389	2,436	2,485	2,535	2,585

【取組概要】

各自治会での自主防災訓練及び研修会への参加を推進できるよう支援します。

② 防災対策事業

【事務事業目標】

避難者が避難所で安心して生活ができるよう日頃から準備を行う

【目標指標（単位）】

避難所運営マニュアルに沿った訓練の参加人数（人）

基準年	R3	R4	R5	R6
220	330	440	550	660

【取組概要】

避難所運営委員会が主体となり、広域避難所での開設や運営の訓練を実施できるよう支援します。



基本目標

安全・安心に暮らせるまちづくり

4

政策

安全・安心の充実

1

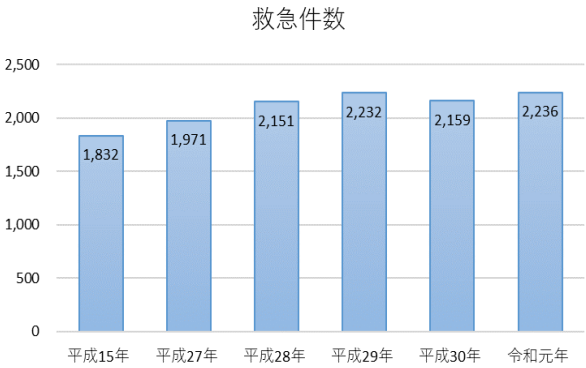
施策

2

消防体制の充実

【町民ニーズ】

- ・ 119番通報時の事案にいち早く現場に駆け付けるなど迅速かつ的確な対応により、町民の生命財産身体を守ることが求められています。
- ・ 危惧される大規模災害に備え、地域の防災力を向上し、町民の生命財産身体を守ることが求められています。



【町内を取り巻く環境（課題等）】

- ・ 救急搬送は、過去10年で増加しており、今後も高齢化の進行に伴う救急需要の増加が見込まれます。
- ・ 将来の救急需要の増加を踏まえた十分な消防力は確保できていません。
- ・ 消防団員の就業等の変化により、平日昼間の活動が困難な団員も多い状況です。



【施策目標（目指す姿）】

- ・ 十分な消防力により町民の生命・財産・身体が守られ、町民が安心して暮らしている。
- ・ 地域の防災力が高く、町民が安心して暮らしている

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
災害に対する受援件数（救急のみ）（件）	32（R元）	27	10	7	5
現場到着平均時間の短縮(時分)	5:19（R元）	5:17	5:15	5:15	5:15
消防団活動延べ人数(人)	4,575(R元)	4,928	5,126	5,258	5,390

具体的な取り組み ～事務事業～

① 消防体制充実事業

【事務事業目標】 十分な消防力が確保されている。	【目標指標（単位）】 部隊数（部隊）				
	基準年	R3	R4	R5	R6
	3.5	3.5	19.0	19.0	19.0
【取組概要】 令和4年度から茅ヶ崎市との消防の広域化を実施します。					

② 消防団活動充実事業

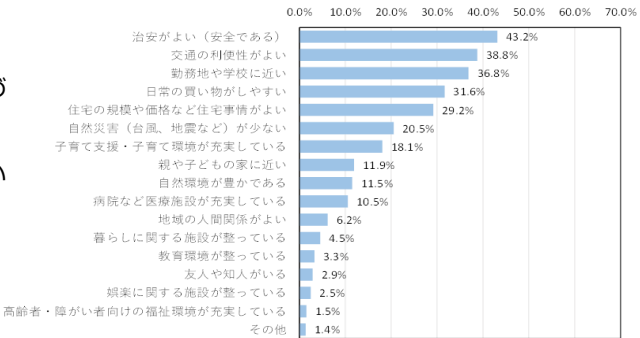
【事務事業目標】 消防団員が十分に確保され、地域の防災力がを向上している。	【目標指標（単位）】 消防団員数（人）				
	基準年	R3	R4	R5	R6
	174	175	176	177	178
【取組概要】 様々な機会を捉え消防団員確保に努めます。各種訓練・研修等を実施します。					

基本目標	安全・安心に暮らせるまちづくり				
4	政策 安全・安心の充実				
	1 施策 3 交通安全・防犯対策の充実				

【町民ニーズ】

- ・ 転入者アンケートでは、転居先を決める際に重要な環境では、「治安がよい」と回答した方が最も多くいます。
- ・ 歩行者や自転車の安全対策を行い、事故が発生しにくい環境づくりが求められている。
- ・ 犯罪がなく、安心して生活できるための取組みが求められている。

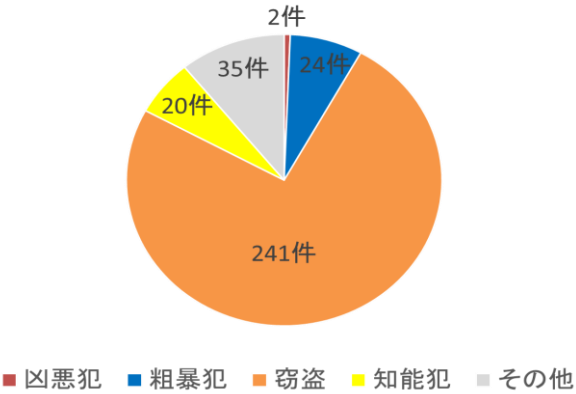
転居先を決める際に重要な環境



【町内を取り巻く環境（課題等）】

- ・ 交通事故件数は減少傾向にあるが、ルール遵守やマナーの向上を図っていく必要がある。
- ・ 犯罪発生件数は減少傾向にあるものの、窃盗件数が最も多い状況です。
- ・ 犯罪をなくすため、自治会、各種団体等との協働により、地域ぐるみの取り組みを推進していく必要がある。

H30年度の犯罪発生件数



【施策目標（目指す姿）】

- ・ 町内の交通事故、犯罪被害を減少させる

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
交通事故件数（高齢者、自転車、二輪車の年間発生件数）	139	133	130	127	124
犯罪発生件数（空き巣、自転車盗、ひったくりの年間発生件数）	83	77	74	71	68



具体的な取り組み ～事務事業～

① 交通安全活動事業

【事務事業目標】

町民一人ひとりが交通マナーを守り、交通事故件数が減少している

【目標指標（単位）】

交通安全キャンペーン等普及啓発活動参加人数（人）

基準年	R3	R4	R5	R6
305	329	353	377	401

【取組概要】

交通安全運動の街頭キャンペーン活動や子どもや高齢者に対する交通安全教室など各種啓発事業を実施します。

② 防犯対策推進事業

【事務事業目標】

町民一人ひとりが防犯対策を行い、犯罪件数が減少している

【目標指標（単位）】

防犯対策普及啓発活動参加人数（人）

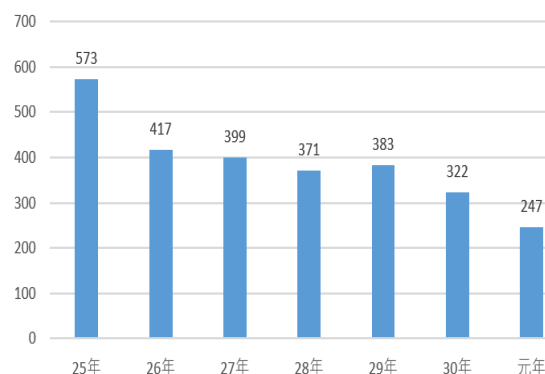
基準年	R3	R4	R5	R6
121	130	139	148	157

【取組概要】

- ・町民、自治会、事業者、警察などと協働で活動に取り組みます。
- ・防犯灯の設置を行います。



刑法犯発生状況（年別件発生数）



基本目標	時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり		
5	政策	都市インフラの最適化	
	1	施策 1	道路の整備

【町民ニーズ】

- ・ 歩行者、自転車、自動車がそれぞれ安心安全に通行できる道が求められています。
- ・ いつも道路が適切に維持管理されていることが求められています。



グリーンベルト

【町内を取り巻く環境（課題等）】

- ・ 町内の多くでは古くからの宅地が立ち並んでおり、新たな道路・歩道の整備が困難な状況である。
- ・ 既存の道路・橋りょう等の老朽化が進行しており、舗装修繕や橋りょうの長寿命化を行う必要がある。



町道の劣化

【施策目標（目指す姿）】

- ・ 町民が安全で快適に道路を利用できている

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
町民満足度の向上（整備）[%]	84	85	86	87	88
町民満足度の向上（維持補修・維持管理）[%]	85	86	87	88	89



具体的な取り組み ～事務事業～

① 道路橋りょう整備事業

【事務事業目標】 町民が安心して快適に道路を通行できている。	【目標指標（単位）】 整備改良延長（安全対策含む）[m]				
	基準年	R3	R4	R5	R6
	0	33	250	110	25
【取組概要】 ・既存道路の改良や砂利道整備、グリーンベルト設置による歩車分離などを行う。	通学路合同点検の実施[回]				
	基準年	R3	R4	R5	R6
	1	1	1	1	1

② 道路橋りょう維持補修事業

【事務事業目標】 町民が安心して快適に道路を通行できている。	【目標指標（単位）】 舗装修繕延長[m]				
	基準年	R3	R4	R5	R6
	0	2,035	1,671	1,861	2,122
【取組概要】 ・舗装修繕・橋りょう長寿命化を実施する。 ・日常的なパトロールを強化し、危険を把握し、早期対応を図る。					

基本目標	時代に最適化したにぎわいのある「まちづくり」				
5	政策	都市インフラの最適化			
	1	施策			
		2	公共交通網の整備		

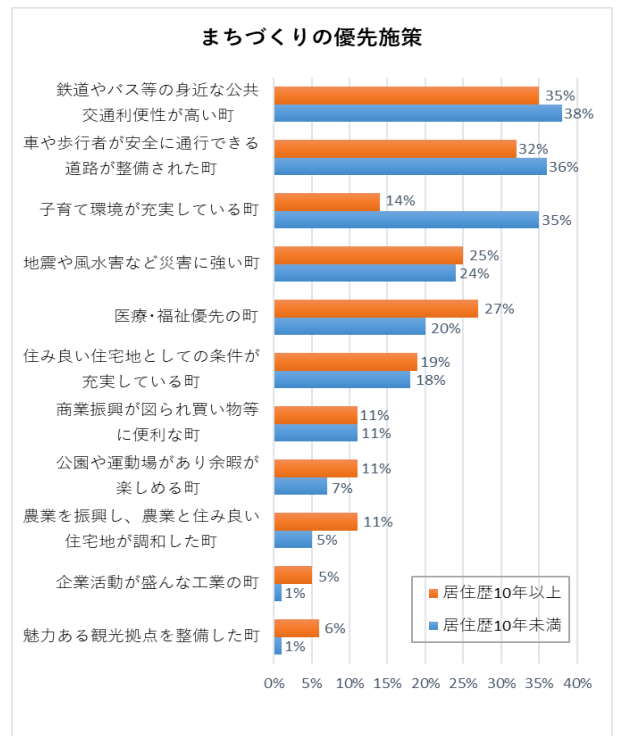
【町民ニーズ】

- ・ 鉄道やバス等身近な公共交通の利便性の高いまちづくりが求められています。
- ・ 自動車の運転に不安を感じる高齢者が増えており、免許返納等の高齢化社会に伴う需要の変化が考えられます。
- ・ 鉄道駅等交通結節点となる施設の充実が求められています。

【町内を取り巻く環境（課題等）】

- ・ コミュニティバスの利用者数が伸び悩んでいる。
- ・ 交通不便地域が存在する。
- ・ 路線バスの減便が進んでいる。
- ・ 人口減少に伴い公共交通利用者の減少が考えられる。

【アンケート結果】



【施策目標（目指す姿）】

すべての人が安心して快適に身近な公共交通を利用できている

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
1日あたりのコミュニティバス利用者数（人）	179	140	141	142	143

具体的な取り組み ～事務事業～

① 公共交通充実促進事業

【事務事業目標】

誰もが使いやすい交通ネットワークができている

【目標指標（単位）】

交通ネットワークに関する改善件数（件）

基準年	R3	R4	R5	R6
1	1	1	1	1

【取組概要】

- ・ダイヤ改正や乗りこぼし対策等コミュニティバスの利便性向上、交通不便地域の解消、鉄道駅施設の充実等を行う。
- ・駅や駅周辺の交通結節機能を充実させます

基本目標	時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり		
5	政策	都市インフラの最適化	
	1	施策	下水道の整備
		3	

【町民ニーズ】

- ・ 近年の集中豪雨や都市化等による浸水被害により、水害に対する町民の意識が高まっている。
- ・ 下水道整備（雨水）を進めることにより浸水被害の解消が求められている。



【町内を取り巻く環境（課題等）】

- ・ 近年、市街化の進展や集中豪雨の増加等に伴い、計画降雨50mm/hを超えるような降雨量が記録されている。
- ・ 下水道の雨水排除能力を超える雨水流出が頻繁に生じており、過去の台風により床上及び床下の浸水被害が発生している。



【施策目標（目指す姿）】

- ・ 町民が浸水による被害を受けない

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
床下床上浸水戸数（戸）	106(H26)	0	0	0	0

具体的な取り組み ～事務事業～

① 下水道整備事業

【事務事業目標】

町民が浸水による家屋被害を受けていない

【目標指標（単位）】

雨水整備率（％）

基準年	R3	R4	R5	R6
62(R元)	66	68	69	72

【取組概要】

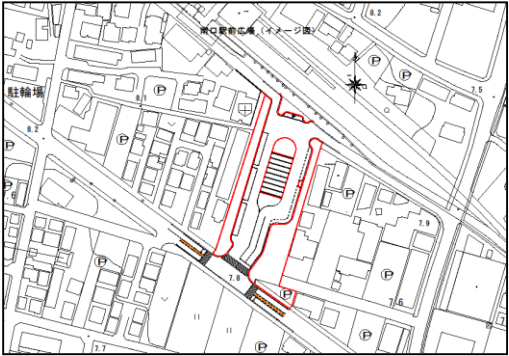
雨水の排水能力や貯留昨日の向上のため、雨水幹線の整備を行う。

基本目標	時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり		
5	政策	市街地の整備	
	2	施策 1	市街地整備の推進

【町民ニーズ】

- ・ 寒川駅周辺は寒川駅に向かう町内各地からの交通ネットワークの強化が求められている。
- ・ 田端西地区は新たな産業拠点として計画的な市街地整備が求められている。

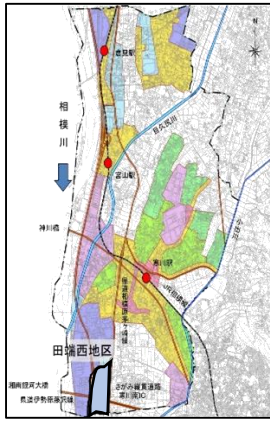
寒川駅南口事業（イメージ図）



【町内を取り巻く環境（課題等）】

- ・ 寒川駅南口の道路は幅員が狭く、通過車両と駅への送迎車両による交通障害が生じている。また、駅から南口バス乗降場が離れているため、利用者に不便が生じている。
- ・ 田端西地区はさがみ縦貫道路の開通や都市計画道路藤沢大磯線の開通により、交通の利便性が高まったことでスプロール化が懸念される。このため、現在では公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図り、新たな産業集積拠点を整備するため土地区画整理事業を施行中である。

田端西地区位置図



田端西地区土地利用計画図

【施策目標（目指す姿）】

- ・ 町民が生活中心拠点（寒川駅周辺）へ快適に行き来できている。
- ・ 町民が産業集積拠点としての土地利用ができるようになっている。

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
寒川駅南口駅前広場の整備状況（％）	0	1	26	78	100
産業集積拠点の整備面積（ha）	0	0	0	4	8



具体的な取り組み ～事務事業～

① 寒川駅南口整備事業

【事務事業目標】

寒川駅南口駅前広場の供用により、町民が快適に行き来している。

【取組概要】

不動産鑑定、大規模用地買収協議、整備するための関係機関との協議、工事、供用

【目標指標（単位）】

寒川駅南口駅前広場の整備率（％）

基準年	R3	R4	R5	R6
0	1	26	78	100

② 田端西地区まちづくり事業

【事務事業目標】

土地区画整理事業の円滑な進捗により、町民が土地利用を開始している。

【取組概要】

早期の事業完了に向けて、施行者である土地区画整理組合に対し、技術援助を行うほか、公共施設等の整備に係る費用に対し助成金を交付する。

【目標指標（単位）】

土地区画整理事業の進捗率（％）

基準年	R3	R4	R5	R6
1.8（R元）	6	36	77	98

ツインシティ倉見地区整備事業については、将来都市構造における都市未来拠点を実現するための重要な事業です。実施にあたっては、東海道新幹線新駅誘致と密接にかかわることから、実施計画の枠組みにとらわれず中・長期的な事業として進めます。

関連する基本目標等

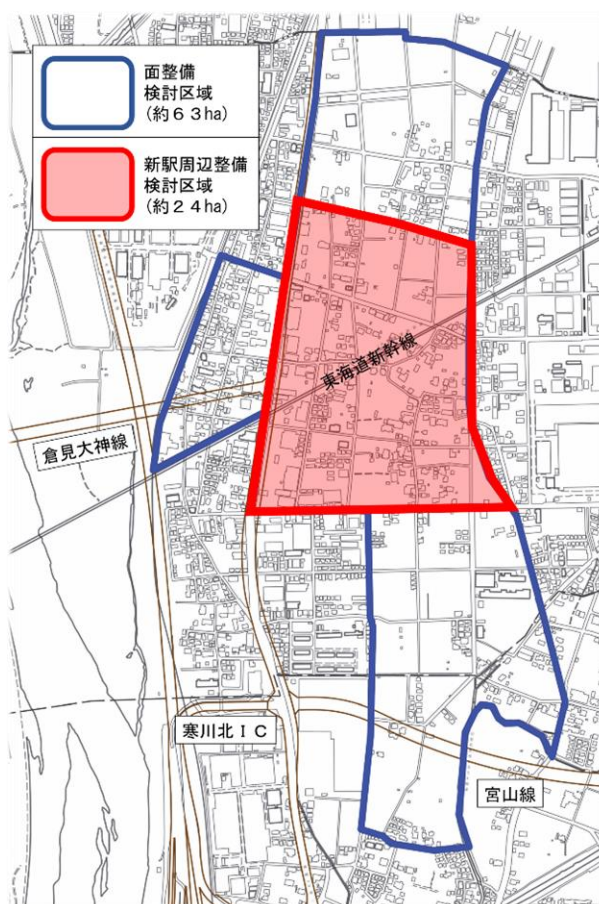
基本目標 5 時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり

政策 2 市街地の整備

施策 1 市街地整備の推進

現状と課題

ツインシティ倉見地区については、東海道新幹線新駅誘致地区を中心に、公共交通の充実や全国との広域的な交流連携の窓口となる神奈川県南のゲートとして、また、町北部の拠点として整備するため、町民と行政との協働による新たなまちづくりを進めていく必要があります。



ツインシティ倉見地区まちづくり

事務事業の目標

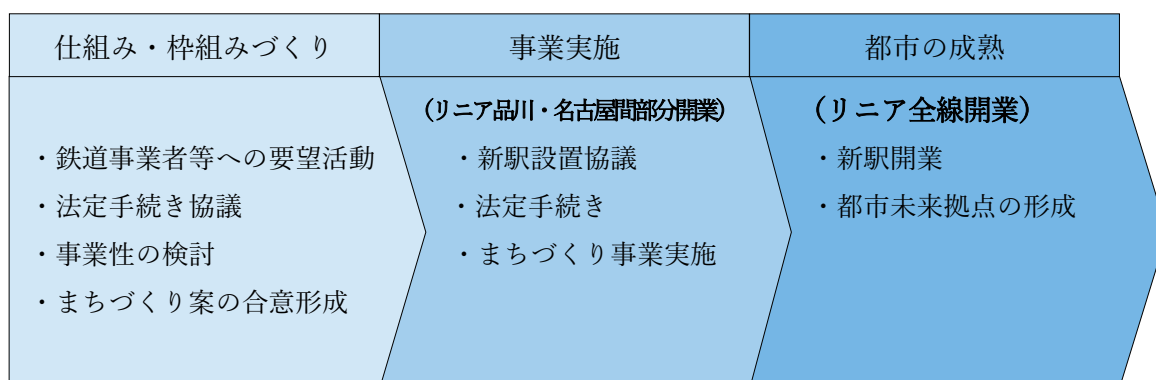
ツインシティ倉見地区は、東海道新幹線新駅誘致地区を中心に町北部の拠点として、環境と共生した新たな市街地の形成。

事務事業の概要（中・長期的な取り組み）

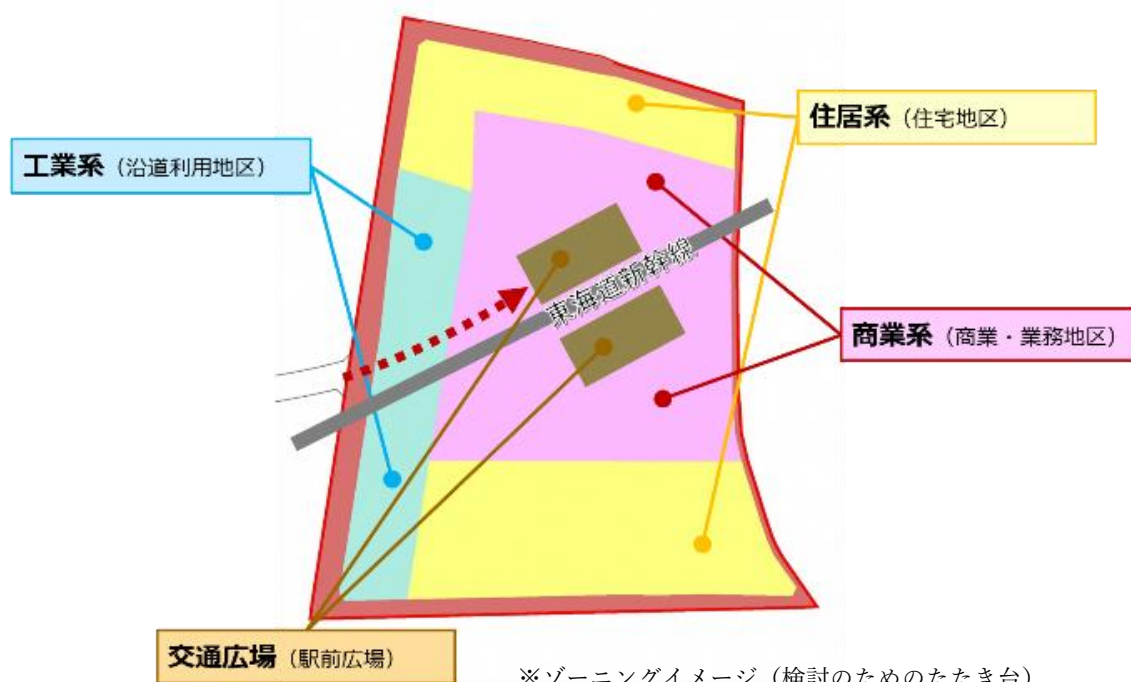
東海道新幹線新駅誘致地区を中心に、町北部の拠点として交通結節点の利便性を生かした新たな機能立地と広域連携となる環境と共生したまちづくりを進めます。

全国との広域的な交流連携の窓口となる東海道新幹線新駅の実現に向けての取り組みを進めます。

ツインシティ倉見地区まちづくりのプロセス



新駅周辺整備検討区域（重点地区）



基本目標	時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり				
5	政策	産業基盤の整備			
	3	施策	商業の振興		
		1			

【町民ニーズ】

- ・（町民ニーズ）町内に魅力的な店が増え、にぎわいのあるまちが求められています。
- ・（事業者ニーズ）創業希望者ごとのニーズに対応した支援と創業準備から創業後までの一体的なサポートが求められています。



【町内を取り巻く環境（課題等）】

- ・ 町内への大型店舗等の出店により小売店の受ける影響が懸念されています。
- ・ ライフスタイルの変化による町民の購買力の流出等の問題が発生していることへの解決策が求められています。
- ・ 一部の地域に店が近くにないことで高齢化世帯が買い物がしにくいとの意見があります。
- ・ 創業希望者ごとのニーズに把握が必要です。



【施策目標（目指す姿）】

町内に魅力的な店舗が増えている

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
創業者数(人)	20	24	24	24	24
小売業店舗数(店舗)	217	217	217	217	220

具体的な取り組み ～事務事業～

① 商業振興事業

【事務事業目標】

- ・事業者が安定した活動ができ、商業が活発化されている
- ・創業者が増え、魅力的な新店舗ができている
- ・必要な事業承継ができている

【目標指標（単位）】

商工会の加入店舗数

基準年	R3	R4	R5	R6
1,779	1,780	1,783	1,783	1,785

商工会の経営指導件数

基準年	R3	R4	R5	R6
17	17	19	19	19

【取組概要】

- ・商工会や商店会等と連携し、地域の特性を生かした活性化事業の創出を行います。
- ・創業セミナーや相談窓口などで創業者の支援を行います。
- ・支援機関体制を構築し、課題に応じた総合的な事業承継支援を行います。

創業支援メニュー利用者数

基準年	R3	R4	R5	R6
41	45	45	50	50

事業承継相談件数

基準年	R3	R4	R5	R6
1	2	3	4	5

基本目標	時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり			
5	政策	産業基盤の整備		
	3	施策	工業の振興	
		2		

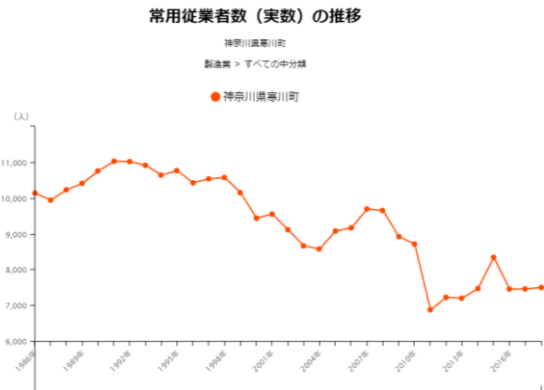
【町民ニーズ】

- ・ 社会環境・経済環境の大きな変化に適應するため、経営力の向上、稼ぐ力の創造（経営革新、生産性向上、販路開拓など）が求められています。
- ・ 慢性的に従業員が不足しています。
- ・ マーケットへのアクセスなど環境が良い工業地への立地ニーズがあります。



【町内を取り巻く環境（課題等）】

- ・ 事業所数、従業員数ともに減少傾向にあります。
- ・ 中小企業の経営者の高齢化が進み、事業承継（後継者育成・人材育成など）が求められています。
- ・ 災害などに対応するための事業継続力の強化が求められています。



【施策目標（目指す姿）】

意欲ある企業が活動しやすいビジネス環境がつくられ、企業の成長により地域経済が活性化している。

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
製造品出荷額等	4,117	4,117	4,117	4,117	4,117
製造業で法人町民税の法人割を納めている企業数	102	102	102	102	102

具体的な取り組み ～事務事業～

① 企業支援事業（エコノミックガーデニング）

【事務事業目標】

意欲ある企業の経営力が向上され、稼ぐ力が創造されている
企業の経営課題が解消されている

【取組概要】

支援環境及び支援ネットワークの整備・充実
多岐にわたる経営課題に対応した支援の実施

【目標指標（単位）】

支援メニュー利用数

基準年	R3	R4	R5	R6
127	130	135	140	145

相談・支援企業数（経営課題整理、事業計画、事業承継）

基準年	R3	R4	R5	R6
15	16	17	18	19

② 企業等立地促進事業

【事務事業目標】

新たな製造業が産業集積拠点へ新規立地している

【取組概要】

新規立地する企業等に対する税の軽減や雇用奨励金の支給、県の企業誘致促進融資などを受けた企業等への補助の実施と支援制度の周知

【目標指標（単位）】

新規立地等件数

基準年	R3	R4	R5	R6
-	-	-	1	1



【町民ニーズ】

- ・ 周辺農地の都市化に伴い、近隣住民に対する配慮が必要とされています。
- ・ 適正な農地規模を維持し、景観形成や、防災機能を保ち、生産性を高める必要があります。
- ・ 就農者の高齢化、後継者不足が深刻化し、農地の遊休地化・荒廃地化など農業生産は厳しい状況におかれています。
- ・ 農産物直売所「わいわい市」は活況を呈しており、今後も、新鮮で安心安全な食料等の安定供給に努め、更なる展望が望まれています。

【町内を取り巻く環境（課題等）】

- ・ 本町農業を取り巻く環境は、都市化の進展とさがみ縦貫道路全線開通などに伴い、土地利用の多様化・混在化・細分化が進んでおり、農業生産環境は年々厳しさが増している。
農業経営は、多くの農家が農業所得のほか不動産等の農外収入により農業経営が維持できている。
農業者の高齢化、担い手不足などにより、遊休農地が潜在的に増加傾向である。

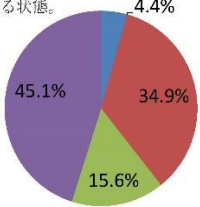


地域農業の将来に関するアンケート（H29.5～6実施）
対象 23生産組合員 回答181件

あなたの地域の農業（人と農地）は、放っておくと10年後にはどのようなになっていると思いますか。（複数回答可）

- 1) 問題ない状態
(耕作放棄地は発生せず、各世代の農業者によって持続的な農業が営まれている)
- 2) 農地が利用されず耕作放棄地の増加が問題となっている状態。
- 3) 地域を支える安定した経営体（個人・法人）がいなくなっている状態。
- 4) 若者の農業者が減少し、高齢化が一層進んでいる状態。

1	2	3	4	合計
13	103	46	133	295
4.4%	34.9%	15.6%	45.1%	100.0%



【施策目標（目指す姿）】

- ・ 農業の生産性が向上し、農業経営が安定している。
- ・ 町民が農業に触れ合う機会を得ている。

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
適正利用されている農地面積率（%）	98.4	98.5	98.5	98.6	98.6
直売所の出荷者数（人）	158	159	159	160	160



具体的な取り組み ～事務事業～

① 農業振興対策事業

【事務事業目標】

農業経営の安定化及び農業の振興、新規就農者等の担い手が確保されている。
農用地を指定し、優良農地が確保されている。

【取組概要】

農業振興地域整備計画を改定する。
農地パトロールを実施し、違反者への是正及び遊休農地の流動化を促進する。
農業振興を図るための取組、支援、事業を実施する。

【目標指標（単位）】

遊休農地面積（㎡）

基準年	R3	R4	R5	R6
36,103（R元）	34,000	33,000	32,000	31,000

農用地の違反面積（㎡）

基準年	R3	R4	R5	R6
24,963（R元）	23,000	22,000	21,000	20,000

② 農産物直売所活性化事業

【事務事業目標】

直売所が拡大されることにより、農業者の生産意欲が向上し、近隣からの集客も増え、町のにぎわいにつながっている。

【取組概要】

JAさがみと連携し適正な事業規模を検討する。
関係機関と農用地除外、建築要件の調整を行う。

【目標指標（単位）】

直売所数（箇所）

基準年	R3	R4	R5	R6
25（R元）	26	26	27	27

基本目標	時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり			
5	政策	産業基盤の整備		
	3	施策	観光の振興	
		4		

【町民ニーズ】

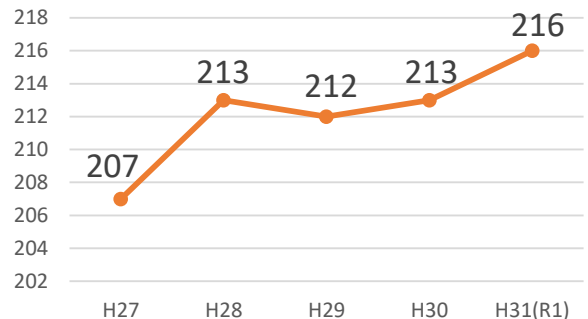
（町民ニーズ）

- ・ 寒川神社の参拝客190万人が町内産業に出費してもらいにぎわいのある町にしてほしい。
- ・ 寒川神社だけではなく、「寒川町はいい町」「魅力ある町」という印象をもってもらいたい。

（観光客）

- ・ 寒川神社以外に高いサービスが受けられる場所があれば寄ってきたい。

観光入込客数（万人）



【町内を取り巻く環境（課題等）】

- ・ 相模川や年間190万人が訪れる寒川神社など、歴史的な資源の有効活用が観光振興に必要です。
- ・ 寒川神社の参拝者は、町内を周遊していない状況にありますので、スマホなど手軽に情報収集できるような環境整備や情報発信が必要です。
- ・ 縦貫道路が整備され、交通が便利になり、増加した自動車での来訪者を町内に周遊してもらう方が必要です。

【施策目標（目指す姿）】

観光客数が増えている。

観光客が町内を周遊している。

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
当課主催の(共催・協力) 観光イベント来場数(人)	38500	38500	38500	40000	40000
観光拠点数高い(サービスが提供できる場所)(箇所)	3	3	3	4	4
観光客数(万人)	201	198	198	200	200

具体的な取り組み ～事務事業～

① 観光推進事業

【事務事業目標】 ・観光に地域資源が生かされている。 ・観光協会や各団体と連携した観光事業が行われている。	【目標指標（単位）】 観光キャンペーン参加者数				
	基準年	R3	R4	R5	R6
	9957（R1）	20,000	20,000	25,000	25,000
	観光に関するメディア露出件数				
	基準年	R3	R4	R5	R6
【取組概要】 ・近隣3市3町と連携した観光推進事業を創出します。 ・観光協会や各団体と事業開催に向けて協力・支援を行う。 ・外国人の受入サポートを実施する。	12（R1）	13	13	15	15
	観光事業実施数				
	基準年	R3	R4	R5	R6
	3（R1）	3	3	4	4
	外国人誘客事業数				
	基準年	R3	R4	R5	R6
	2（R1）	2	2	3	3

